

もう誰の子も殺させない

安保法案に反対するママの会 (福井市)

毎日新聞 8月16日

もう誰の子も殺させない

「国外の友人からだって、このごろ日本はどうしちゃったの？って心配の声が出ていますよ」。そう話すのは福井市の主婦、ヤング有希子さん。ドイツからの帰国子女で、小学2年生の長男を持つ40代の母親だ。夏は12〜50代の母親たちに呼びかけて、「安保法



平和を願う思いは一つ

非戦世代から

安保法案に反対するママの会 福井

教え子を戦場に送らない

退職教員立ち上がる (福井県)

福井新聞 8月14日



安保法案反対向け退職教職員活動へ
アピル文を作成
県内の退職教職員の有志8人が13日、福井市内で会合。参議院で審議が進む安全保障関連法案の成立に反対する取り組みを行うと発表した。
「再び戦争をする国にはならない」という思いを県民や現職の教職員に知ってもらおうと、元県立高校教諭の金森洋司さん(75)らが中心と

安保法案への反対を表明する金森さん(左)ら14日、県庁内の教育記者クラブ

退職教職員の集い

8月18日(火)午後2時 教育センター

福井県の小・中・高校の退職教員が「若者を再び戦場に送らないために。憲法9条を壊す安全保障法制(戦争法案)に反対するアピル」を発表しました。この呼びかけに県内の退職教員の500名を超える元教員が賛同、運動の輪が大きく広がっています。8月13日には記者会見、同日18日、福井県教育センターで「退職教職員の集い」を計画しています。

員にも渡す予定。18日には福井市の県教育センターで賛同者の集会を開催。弁護士が安保法案の解説などを行う。(北島哲志)

「安保関連法案に反対するママの会」が発足報道によると、「平穩に暮らしている中、安保法制の審議に対して、このままでは憲法の存続が危なくなる。空襲で焼け野原。その上に原発事故、安保法制と、国の政策への疑いを口にする人が少ない中で、それが再び国の方向を漂わせること」。職業は様々ですが「もう誰の子も殺させない」と立ち上がりました。

当面の戦争法反対活動

ピラマキ

8月29日(土) 12時 JR福井西口アオッサ付近
9月2日(水)・9日(水) 両日7:30 JR福井西口

全国大行動

8月30日(日) 東京10万人 全国100万人行動
福井 午後2時 デモ 福井市中央公園〜西武丹南、敦賀、小浜等では地域で集会デモ等を検討

自衛隊福井市パレード抗議

中止申入れ 8月26日(集合の時間場所は別途連絡)
抗議行動 9月5日(土) 10:30 福井裁判所南側

大野でも憲法カフェ

安保法制ってなんだろう？ 憲法ってよくわからない、戦争する国になるってホントかな？

大野でも、「明日の自由を考える若手弁護士会のママさん弁護士・弘川欣絵さんによる勉強会が行われました。県内の隅々で「戦争法反対」の運動が広まっています。

発行：2015.8.17
戦争する国づくり反対福井県連絡会
福井民医連ビル内 0776-27-6648

戦争法反対・県民の声、みんな集まりましょう。

ストップ！安保法制 福井県民大集会

8月23日(日)午後2時 福井市西公園

どなたでも自由に参加できます

野党合同街頭演説会

8月23日(日) 午後4時頃 福井放送会館前付近

戦争法反対は県民の声、みなさん集まってください

福井県民集会 8月23日午後2時 福井市西公園

西公園は、福井市東別院北側の公園です。
別院の駐車場と周辺駐車場をご利用ください

どなたでも自由に参加できます、あなたの参加で戦争法と戦争を食い止めましょう、平和のために！

「戦争法反対」福井県教育センターに結集した退職教職員のみなさん



教え子を再び戦場に送らない
退職教職員が集い
賛同者550人を超える

「教え子を再び戦場に送らない」と、戦争法案に反対する福井県内の退職教職員らが結集しました。福井市の県教育センターで18日開いた「集い」に、90人余が参加しました。県内では、小中高校などの退職教職員らが「若者を再び戦場に送らない。憲法9条を壊す安全保障法制法案に反対する」アピールを発表、賛同する教職員が「集い」に結集しました。

発起人として元高校教員の竹内謙二さん（85）川坂井市IIがあいさつに立ち、アピール賛同者数が550人を超えて広がっていると報告しました。竹内さんは安倍政権の戦争法案を批判し、「戦前の日本帝国を再現しようとしている。70年かけてつくってきた民主主義社会の全否定だ。絶対に許せない。ぜひ廃案に追い込みたい」と訴えました。

呼びかけ人として、元高校長の橋代治さん（78）は「今回の安保法制は外交の貧弱さを隠ぺいするため、近隣諸国の警戒を必要以上にある。ぎまみに満ちたものだ」、元中学校長の酒井隆平さんは「私たちは今立ち上がり、安倍政権に対抗しなければならぬ」とのべました。

リレートークでは、元小学校教員の南部美弥子さん、元高校教員の坪田嘉奈弥さんなどが発言しました。

参加者らは、アピールを県民に広げ、県選出国会議員にも届けながら、賛同者をさらに増やすことを確認しました。



左から、稲木・芦野・森・山本の各氏

8月18日、戦争法反対のアピールに賛同する各界の山本富士夫氏（福井大学名誉教授）、森透氏（福井大学教授）、芦野順介氏（浄土真宗僧侶）、稲木信夫氏（詩人）の四氏が福井県政記者室で記者会見を行いました。各氏はそれぞれの立場から「戦争につながる戦争法を許してはならない」「先の戦争の歴史を繰り返してはならない」「御釈迦さんの教え、殺しても、殺されてもならない」「福井市は空襲で壊滅的な被害を受け、多くの市民が死んだ。憲法9条を守らなければならない」など平和を壊す「戦争法反対」を強く訴えました。弁護士グループが訴えた「安保法制反対」アピールに賛同する県内各界の方々は現在69名に達しています。また、医師・労働界・地域のお母さんたちにもアピール賛同が広がっています。

各界・各階層に戦争法反対の声広がる
弁護士・学者研究者・宗教者・文化人・医師・退職職員・そしてお母さんに
「憲法違反の安全保障法反対」アピールの発表した県内21名の弁護士。このアピールに賛同する輪が学者研究者・宗教者・文化人・医師・退職教員、そして地域のお母さんたちに大きく広がっています。